

氏名	山 田 琢
学位(専攻分野)	博 士(医 学)
学位授与番号	博 甲 第 1169 号
学位授与の日付	平成 5 年 3 月 31 日
学位授与の要件	医学研究科内科系皮膚科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	皮膚器官培養を用いた黄色ブドウ球菌性表皮剥脱素 A の研究
論文審査委員	教授 小熊 恵二 教授 大森 弘之 教授 難波 正義

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

ヒト正常皮膚器官培養を材料として黄色ブドウ球菌性表皮剥脱素 A (ETA) を作用させ、経時的、濃度依存的に顆粒層にて表皮剥脱が起こることを確認した。

また、ETA 処理により細胞骨格蛋白であり分化の指標でもあるケラチン蛋白、終末角化のマーカであるインボルクリン、細胞接合部に局在している表皮成長因子受容体、表皮成長因子、さらに炎症性皮膚疾患で見られる表皮細胞の細胞表面マーカーの変化の有無を免疫酵素抗体法を用いて調べたが、対照との間に有意差を認めなかった。

また、表皮細胞間接着に重要な 160kD デスモグレイン I の変化を落葉状天疱瘡患者血清による蛍光抗体間接法を用いて調べた。その結果、落葉状天疱瘡患者血清による蛍光抗体間接法は ETA 処理により明らかに減退したが、対照の尋常性天疱瘡患者血清による間接法は ETA 処理によりむしろ軽度増強した。水疱性類天疱瘡は ETA 処理による変化を受けなかった。これらの結果より、ETA は落葉状天疱瘡抗原（すなわちデスモグレイン I）を標的とし、サイトカインなどを介さない機序により、表皮剥脱を引き起こしていることが示唆された。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は黄色ブドウ球菌の産生する表皮剥脱素 A の作用点が、160Kd のデスモグレイン I であることを、培養したヒト正常皮膚器官に精製毒素を、次いで落葉状天疱瘡患者の血清抗体を作用させることにより証明した価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。